

■ 良好事例と助長策 ■

| 良好事例  | 助長策  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地震発生と同時に災害対策本部を開設し、警戒事態、施設敷地緊急事態の発生に伴い、必要な防護措置等の意思決定について災害対策本部会議を開催するなど、本部運営を確実に進めていた。</li> <li>○ 市町とのTV会議、NISSの活用など情報共有が適切になされていた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 左記事例の定着と異動等による新任の担当者への伝承のため、手順書やチェックリストの整備が推奨される。</li> <li>・ ブラインド方式でより多くの部署を対象とした県本部としての図上訓練や、テーマを絞った要素訓練を実施することにより、要員の練度向上と組織力の向上が期待できる。</li> </ul> |

■ 改善すべき事項及び今後の対策 ■

| 改善すべき事項   | 今後の対策及び当該方法を推奨する根拠   |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● シナリオがない実災害時の本部運営では、適時的確な判断に資する情報の共有が必要と考えられる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県本部会議室内のクロノロジー（危機対策課と同様のもの）、県内各地の地震被害状況図、防災関係機関の活動状況、避難状況表：避難所・避難経路等の状況図、各市町の避難実施計画の表示などにより、関係者の情報共有が促進され、実災害時の迅速・的確な意思決定に資することが期待できる。</li> </ul> |

(2) 市本部訓練

本部運営、役割分担、重要情報伝達などは適切に実施されていた。一方で実災害時を考慮すると、より一層の練度向上と情報共有の促進が求められる。

■ 良好事例と助長策 ■

| 良好事例   | 助長策  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 原子力緊急事態宣言を受け、PAZ内住民への避難指示、UPZ内住民の屋内退避の指示が適切に実施された。</li> <li>○ 避難バスに同乗の市職員が携行する携帯無線機の位置情報を活用し、デジタル地図上に表示するシステム（モバロケ）を活用し、PAZの避難状況を常時確認・把握できる体制であった。</li> <li>○ 施設の避難を含め人数、避難指示時間、出発時間、避難先到着時間など情報の整理が適切になされていた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 左記事例の定着と異動等による新任の担当者への伝承のため、手順書やチェックリストの整備が推奨される。</li> <li>・ ブラインド方式でより多くの部署を対象とした市本部としての図上訓練や、テーマを絞った要素訓練を実施することにより、要員の練度向上と組織力の向上が期待できる。</li> </ul> |

|  |
|--|
| ○ 災害対策本部会議において危機管理監が今後予想される対応について補足説明しており，本部員の理解促進など，適切な会議運営に貢献していた。 |
|--|

■ 改善すべき事項及び今後の対策 ■

| 改善すべき事項  | 今後の対策及び当該方法を推奨する根拠  |
|--|---|
| ● モバロケによる避難バス避難状況の常時把握，手書きのクロノロジーがなされていたのは良いが，やはりシナリオがない実災害時の本部運営を考慮すると，適時的確な判断に資する情報の共有などが必要と考えられる。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>全員が確認できるクロノロジー，県内各地の地震被害状況図，防災関係機関の活動状況，市の避難実施計画の表示などにより，関係者の情報共有が促進され，実災害時の迅速・的確な意思決定に資することが期待できる。</li> </ul> |

(3) OFC関係

ア 全体評価

① 事前説明会に対する評価

アンケートでは，79%が事前説明会の時間が適切，74%が内容を理解できたと回答。共にやや低い結果となった。また，内容に対して時間が少ない，内容が難しかったとの意見も散見される。遠方参加者からは前日開催を望む声があった。

■ 改善すべき事項及び今後の対策 ■

| 改善すべき事項   | 今後の対策及び当該方法を推奨する根拠  |
|---|---|
| ● 内容が難しかったとの意見が比較的多い。内閣府図上演習への参加率が39%と低いことが要因の一つと考えられる。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>当訓練単独ではなく，国主催の研修，訓練も含め，目的や対象者を明示した年間計画を年度早期に関係者に周知し，参加を促す。この結果，初心者，経験者ともに，力量や役割に応じた計画的な訓練参加が可能になり，訓練効果の増大が期待できる。</li> <li>訓練に参加する上で最低限必要な事項と理解度確認問題をまとめた冊子を事前に配布することにより，初心者の理解促進とともに，経験者の復習効果が期待できる。</li> <li>事前説明の一部を，経験者と初心者と分けて実施することも一案である。</li> </ul> |

② 訓練シナリオ等の理解度に対する評価

アンケート結果では，訓練シナリオや想定を理解度は74%でやや低い。付与情報や用語がわかりにくかったとの声が多い。